

全国高校サッカー選手権大会

今年の全国高校サッカー選手権大会が、東京国立競技場で一月十日終了しました。この大会には宇高が名を連ねているんです。あのサッカー大好き人間。矢口栄宏さんの代でしたよね。

なんと、今回が百回目だったんです。年を感じます！

青森山田は「下野サッカー寒稽古」のお得意様でした。

ここ二十年、プロ入りのチャンスをねらう若者の増えたことで、サッカー界の風向きが変り、地域をあげて、サッカー強化に力を入れる傾向が強くなってきました。

第九回大会の四強は、中等部を持つ青森山田、静岡学園と地元で作った中学生年代の町クラブの選手を供給源にする矢板中央（栃木）、帝京長岡（新潟）が占めました。

同様の取り組みは私立高校を中心に全国に広がっています。

その強力で、抜群なのが 青森山田なのです。青森山田は中高合わせて、三三〇人も部員を抱え、指導スタッフは 十一人もいるのだそうです。今年度のAチームは高校年代、最高峰は「ブレミアリーグ・イースト」を、Bチームはその下の「プリンスリーグ東北」で二位、Cチームは青森県リーグで優勝でした。選手権予選の準優勝も二十二年と一方的な結果でした。

ところで・・・この文書、なかなか捗らず・・・

三月三日の朝、朝日新聞を見ていたら、一枚目の下部に書物の広告の欄に注目？発見。

「青森山田サッカー部の飲酒問題に広がる不審」とある。ギョ！これには、ビックリ

早速手近にあつたタブレットを開けてみたら、ある ある。三月二日入力のニュースとして いろいろありました。

飲酒事件に対する指導者の在り方？ 子ども達の一生にもかかわる重大事です。

貴方のチームは大丈夫でしょうね。子ども達の将来を背負う「指導者」なんですよ。